

第1部

第3章 幼児期における接続期カリキュラムについて



1 幼児期における接続期カリキュラムの作成に当たって

幼児期における接続期カリキュラムは、幼児期の学びを小学校につなげるとともに、就学前の幼児がスムーズに小学校の生活や学習に適応できるための幼児期の教育修了前（5歳児の教育）におけるカリキュラムです。小学校のカリキュラムを先取りするものではなく、就学前までの幼児期にふさわしいものにすることが大切です。

幼児期における接続期カリキュラムを作成する際、「児童期のスタートにおける姿」を具体的にイメージし、「学びの芽生えの時期（幼児期）」と、「自覚的な学びの時期（児童期）」という発達の段階の違いからくる「遊びの中での学び」と「各教科などの授業を通じた学習」という「学び方の違い」を理解し、「幼児期の教育の特徴」を生かしたカリキュラムにすることが重要です。

【参考】小学校教育との接続に当たっての留意事項

幼保連携型認定こども園・教育保育要領

（平成29年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省告示）

第1章 総則

第2 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

1 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画の作成等

(5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

ア 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。

イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

幼稚園教育要領（平成29年3月文部科学省告示）

第1章 総則

第3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

(1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。

(2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

保育所保育指針（平成29年3月厚生労働省告示）

第2章 保育の内容

4 保育の実施に関して留意すべき事項

(2) 小学校との連携

ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。

イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第1章の4の(2)に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。

2 現存の教育課程・保育課程を見直そう

教育課程・保育課程が各園等で異なるため、教育・保育活動も地域や幼児の実態に応じて異なります。そこで、育てたい力や園等の重点課題等に沿って、岐阜県版接続期カリキュラムを参考に、現在の自園のカリキュラムを整理し、円滑な接続を見通した視点で接続期にふさわしいカリキュラムになるよう見直してみましょう。

【見直しの視点】

□幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識したカリキュラムになっていますか。

現存の教育課程・保育課程でも内容の中に「10の姿」は含まれていると考えられますが、接続期に何を重視して幼児に力を付けていくのかが明確になっていないことが多いようです。もう一度原点に戻って整理し、「10の姿」の内容と照らし合わせ見直していきましょう。

□幼児期の教育・保育とそれ以降の教育との関係を意識していますか。

幼児期における接続期カリキュラムが、小学校教育に適應する準備段階とするものではないことを念頭に置き、幼児期の教育・保育と小学校の教育との違いが明確になっているか見直していきましょう。

□幼児期の学びが、小学校の学習や生活につながるようなカリキュラムになっていますか。

一つ一つの遊びや生活の学びが、どのように育っていくのかを見通しながら、どんな遊びや生活を体験させることが、小学校の教育内容に興味関心をもたせていくのか考えましょう。

様々な遊びの中で楽しんだり、考えたり、工夫したり、もっとこうしたいと思ったりするように、幼児自身が遊びを展開させていく【学びの芽生え】から、小学校での各教科等の学習内容に興味をもち、自分の課題として受け止め、やってみたい、解いてみたいという意識をもつ【自覚的な学び】へつながっていくような内容になっていますか。

□学びの自立・生活上の自立・精神的な自立の三つの自立（P7参照）を養うことができるカリキュラムになっていますか。



3 接続期カリキュラム実施のポイントは

接続期カリキュラムの実施に当たっては、次の三点について配慮しましょう。

【実施のポイント】

(1) 主体的に遊ぶ力を育てる

幼児と一緒に遊び込み、幼児と遊びを楽しみましょう。

(2) 人との関わりを通し、自分の考えを言葉で広げ深める力を育てる

遊びや生活の中での幼児同士の関わりや言葉のやりとりを細やかに捉えていきましょう。

(3) 思考力、判断力、表現力を育てる

幼児がわくわくドキドキするような楽しいと感じる環境を整えましょう。

以上の三点については、別々に育つものではなく、主体的な遊びを通して、関わる力や思考力、判断力が育ちます。切り離して考えるのではなく、総合的に考えていくものです。

(1) 主体的に遊ぶ力を育てる

主体的に遊ぶためには、安心感や安定感が必要です。それは、自分のことを受け止めてくれる人がいるという安心感、自分のことは自分でできる、自分の思いを相手に伝えるという自信からの安定感、自己肯定感があることで、周囲の様々な物・事・遊びに興味や関心を示し、積極的に働きかけ、見通しをもって粘り強く取り組み、自らの遊びを振り返って、期待をもちながら次につながる「主体的に遊ぶ力」となっていくのです。

そのために教職員は、幼児が今何を楽しんでいるのか、見極めることが大切です。何に心を動かされ、何をしようとしているのかを知ること、環境を構成していきます。つまり、教職員が園等の環境に工夫を施したり、幼児の自発的なつぶやきを拾い、価値付けたりすることで、幼児は主体的になっていきます。まずは、教職員が心を動かし、共に遊びながら、幼児の言葉に耳を澄まし、幼児の姿を分析し、次の環境を考えていきましょう。



この花はどんな色が出るかな？

色水遊び



もっとたくさんとびたいな。

なわとび

(2) 人との関わりを通し、自分の考えを言葉で広げ深める力を育てる

幼児は、いろいろな人と関わり、「自分の思いを出す」、「相手の思いに気が付く」など、自分から言葉で伝えたり、相手の言葉を聞いたりすることを積み重ねることで、より主体的に遊ぶようになります。また、言葉のやりとりを通して、「相手のよさに気が付く」、「知識を得る」など、物事に対する深い理解を得ます。言葉のやりとりを通して情報を得ることで、一人では気が付かなかったことに気付き、自分の考えがより確かなものへとなっていきます。一人ではできなかったことも、新しい知恵を得ることで新しい想像が生まれ、できるようになっていきます。

そのために教職員は、幼児の言葉のやりとりの内容を聞いて、どんな考えをもっているのか、何をしようとしているのかを探り、時には、対話を通して幼児の考えや方向を整理していきます。その時、幼児の言葉のやりとりそのものを認め、そのよさを具体的にほめていくことが大切です。

また、友達と気持ちを合わせて、遊ぶことの楽しさや一つの目的に向かって力を合わせる協同的な活動や遊びを更に取り入れていきます。その経験が、小学校の集団生活への土台となっていきます。



(3) 思考力、判断力、表現力を育てる

幼児は、身近な環境に興味や関心をもち、「おもしろい」、「なんでだろう」、「もっとやってみよう」、「どうなるのかな」など、好奇心や探究心をもち、繰り返し関わる中で、新たな発見をしたり、どうすればもっと楽しくなるかを考えたりします。その体験を様々な場面で思い出し、使おうとしたり、試行錯誤を繰り返したりします。

教職員は、様々な遊びをしている幼児が、その知識は、最近の遊びから得たものか、あるいは、ずっと以前の経験が今生かされているものかなど、遊びと遊びの関連性を知る必要があります。その関連性の中で、繰り返し起きる新たな発見や感動が、さらに深くなるよう、幼児が面白いと感じる素材、材料などの物的環境を構成していくことが大切です。

タイヤをたくさん
つけるといいよ。



Aさんのくるまは、
はやくはしるね。

ここからはしらせたら
どこまでいくな？

車作り

ちくちくいたいよ。
どうして？



栽培活動（きゅうりの収穫）

どうやったらうまく
いくな？



おもちゃ作り

資料「やってみると、こんないいこと！」



重たいけれど、がんばって片付けるよ！



ちょっと怖いけれどやってみよう。



ぼくの話は...



私は、さらさら粉をかけるね。



ここは、どうする？



早くよくなってくださいね。



♪花が咲いたら、じゃんけんぽん♪



筒の中に水を流すとどうなるかな？



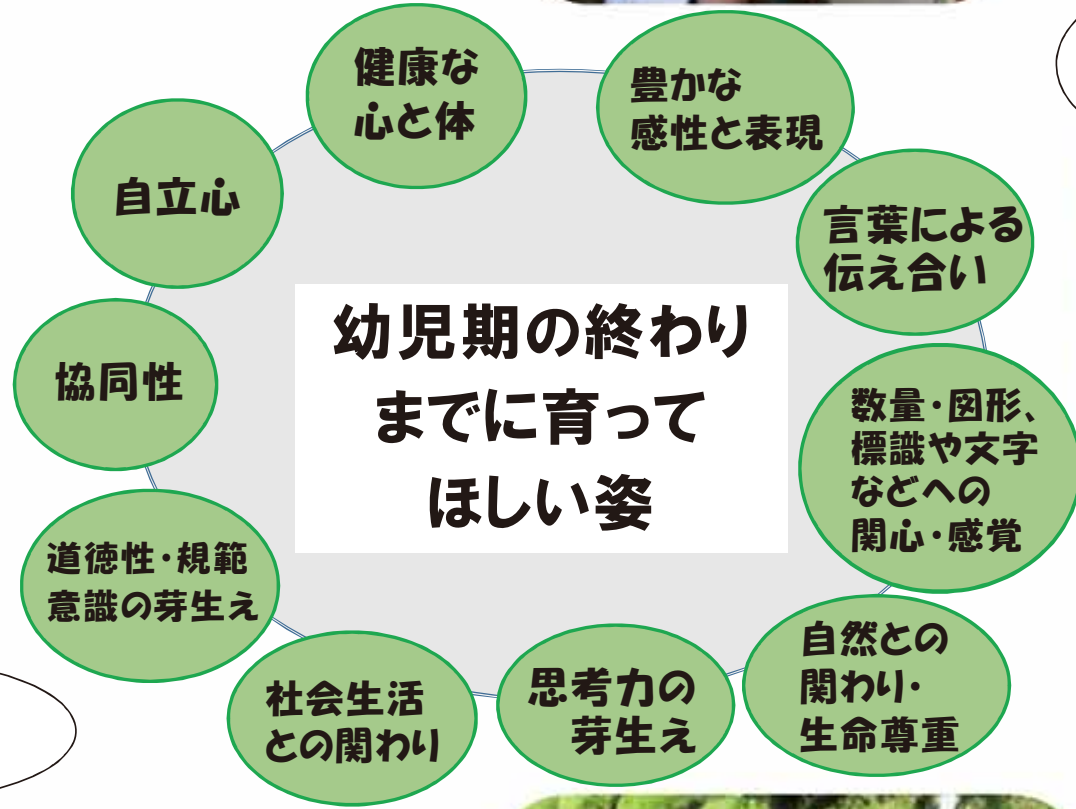
みんなで力を合わせてがんばるぞ！



「あ」の字、見つけた！



この粉はさらさらだね。



ここのお皿にクッキーをのせてね！